

笛や太鼓に合わせて豪快に披露された「寅舞」



## 水の恵みに感謝

### 井手・平蔵祭り

「神の水」と称される元禄嘉永井手の恩恵に感謝する「井手・平蔵祭り」が9月25日、古閑原守護神社(上野)で行われました。七滝土地改良区(栗永榮一理事長)と古閑原(川口勝行区長)が共同で主催。祭りでは、七滝中央小学校児童による太鼓や相撲、伝統芸能「寅舞」が披露され、参加した地域住民たちは秋の大祭を楽しみました。相撲に参加して、男子児童を含む3人抜きで土俵を沸かせた6年生の藤井穂花さん(七滝)は、「毎年、祭りを楽しみにしている。男の子を投げ飛ばしたところが楽しかった」と笑顔で話していました。

## 校舎よ、ありがとう

### 御船小運動会

御船小学校(芥川公明校長、336人)で9月27日、運動会が開催されました。今年は、「最後まで 心をひとつに Yes We Can!」をスローガンに掲げて、紅白の団に分かれて優勝を目指しました。競技は、学年別の徒走や技走、玉入れ、応援合戦など全28種目で練習の成果を発揮していました。6年生の出場種目「6年親子リレー～ありがとう御船小校舎～」では、ユニークな衣装をした児童と保護者がバトンリレーを展開して、建替が決まっている御船小校舎に別れと感謝を込めた走りを披露していました。



ユニークな衣装で走り、盛り上がった6年親子リレー

## 「じぶんの夢・感動」発表

### 町青少年健全育成大会・PTA研修大会

作文発表した木倉小3年の岸孝宗郎くん



10月3日、カルチャーセンターで青少年健全育成大会・御船町PTA研修大会が合同で開催されました。

第1部の青少年健全育成大会では、町内の小中学生の代表7名による「じぶんの夢・感動」作文の発表が行われ、家族の姿や体験を通して描いた「自分の夢」が発表され、観客席からは大きな拍手が送られていました。応募総数299点の中から最優秀賞には御船中3年の佐藤薫さん「私の夢」が選ばれました。また高光聡輔氏の基調講演では、発表した児童の作文を取り上げながら「夢を持つこと」や「感動すること」の大切さが語られました。第2部のPTA研修大会では御船中と木倉小のPTA活動の取り組みについての事例発表が行われ、両校の活発な活動内容が発表され、町民や学校・PTA関係者などが熱心に聞き入っていました。

## 「まちおこしの勉強、をはじめました」

### くまもとまち育て塾開催

まちづくりに必要なリーダーの人材育成を目的とした「くまもとまち育て塾」が9月13日、カルチャーセンターで開かれ、公募で集まった町民や町職員など約50人が参加しました。県主催の事業で、県内47市町村のうち御船町が3番目の取り組み。初回となった講座では、塾長の延藤安弘氏(愛知産業大学大学院教授)、講師の内丸恵一氏が、まちづくり先進地の事例紹介や、まちづくり計画の考え方、進め方を講演されたほか、県や町職員が御船町の歴史や道路整備状況などを中心に説明して、御船町の現状認識を深めていました。同塾は、来年2月まで全6回開催され、ワークショップや町内の現地視察、他市町村のまちづくりモデルを参考に学習しながら、御船町限定の「まち育て提案書」を作成して、町に提出される予定です。



御船町の現況説明を受ける参加者たち

恐竜博物館で化石クリーニング作業をする生徒



## 職業を肌で感じて

### 御船中2年生「職場体験学習」

9月8日から11日までの4日間、御船中学校(高野隆校長、525人)の2年生175人が町内や近隣町の各事業所で職場体験をしました。これは「総合的な学習の授業」の一環で「働くことの意義や自己の職業観に意識を高めること」などを目的に毎年行われています。受入れ事業所の米村商店の店主・米村豊さん(滝川)は「生徒たちにはあいさつや人との関わりなど将来、必要なことから指導しています」と話されました。数ヶ所の事業所を訪問しましたが、生徒たちは慣れない様子ではありながらも一生懸命に取り組んでいました。

## うなぎさん大きくなってね

### 御船昭和保育園うなぎ放流体験

御船橋下河川敷で9月9日、御船昭和保育園(沖田昌史園長、145人)の園児がうなぎの稚魚約3,500匹を放流しました。緑川流域での魚の繁殖や生息環境の保護を目的に緑川漁業協同組合(坂本猛組合長)が毎年行っていて、園児を招いての放流体験は初めて。うなぎを入れたポリバケツを抱えて、御船川へ交替で放流を楽しみながら、「大きくなってね」と叫ぶ園児の声が響いていました。年長児の緒方凜乃ちゃん(滝川)は、「(うなぎが)ニョロニョロしていた。流すところが楽しかった」と話していました。



沖田園長と一緒にうなぎを御船川へ放流する園児たち